

Akita University of Art Graduation Exhibition 2021
秋田公立美術大学卒業・修了展
「へば、」
2021



東北圏で使われる「へば」という方言には別れ際の「じゃあね」という挨拶としての意味の他に「そうであるならば」という接続詞的な意味があります。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、「そうであるならば」という接続詞が繰り返された一年だったように思います。

古い概念にとらわれず、新たな芸術領域の創造に挑戦する本学だからこそ今の状況を肯定的に捉えて、そこから新たな価値を創造していくために「へば」という言葉をテーマに掲げました。

Akita University of Art
Graduation Exhibition 2021

秋田公立美術大学
卒業・修了展 2021

「へば、」

2021 Wed 2/17 ~ Sun 2/21

10:00~18:00 (最終入場 17:30)

【初 日】開 場 13:00

【最終日】閉 場 17:00 (最終入場 16:30)

入場無料
admission free

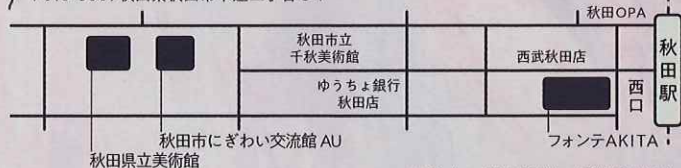
アクセス access

学 部 秋田駅西口より徒歩 10 分

秋田県立美術館 秋田市にぎわい交流館AU
〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目 4-2 〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目 4-1

大学院 秋田駅西口より徒歩 2 分

秋田公立美術大学 サテライトセンター (フォンテAKITA 6 階)
〒010-0001 秋田県秋田市中通二丁目 8-1



秋田自動車道秋田中央ICより約 10 分 ※ 駐車の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

主 催 秋田公立美術大学卒業・修了展 2021 実行委員会 / 秋田公立美術大学
後 援 秋田市 / 秋田魁新報社 / NHK 秋田放送局 / ABS 秋田放送 / AKT 秋田テレビ /
AAB 秋田朝日放送 / CNA 秋田ケーブルテレビ / あきびネット

お問い合わせ 秋田公立美術大学事務局学生課
☎ 018-888-8105 (平日 8:30-17:15)

学 部 : @AUAsotsuten2021 大学院 : @AkibiGrad



メインイベント main events

●アーツ & ルーツ専攻 「へば、アートと私の在り方」

美術作家の谷澤紗和子さん、アートコーディネーターの芦立さやかさんをお招きし、現在に至る活動や表現と生活とのバランスの取り方など、卒業後私たちがアートと関わり続けるためのヒントをお話いただきます。

ゲスト：谷澤紗和子 (美術作家)、芦立さやか (アートコーディネーター) 形 式：トークイベント

日 時：2 月 18 日 (木) 13:00-14:30 会 場：にぎわい交流館AU まち発見・発信ステーション



谷澤紗和子
TANIZAWA Sawako

切り紙と光と陰によるインスタレーションや、貝殻の焼け跡の残る陶人形などを制作する美術作家。近年は、「妄想力の拡張」「弱者」「女性」をテーマに掲げている。主な展覧会に、「東アジア文化都市 2017 京都-アジア回廊 現代美術展」(二条城、京都、2017)「高松コンテンポラリーアートアニュアル vol.5 見えてくる景色/見えない景色」(高松市美術館、香川、2016) 写真提供：好き好日 撮影：平野愛



芦立さやか
ASHIDATE Sayaka

武蔵野美術大学芸術文化学科卒業後、アートセンターや芸術祭等の事務局で勤務した。2011 年より HAPS (現：一般社団法人 HAPS) の事務局長として京都市内の若手芸術家等の支援に従事。2018 年から沖縄に移住し、アーティストの吉濱翔とアートスペース「ArtsTropical」を運営した他、県内のアート企画等をサポートしている。

●ビジュアルアーツ専攻

「へば、『作品を見ている』を覗いてみる？」

web 上で開催される展覧会や VR 美術館といったオンラインコンテンツの登場により、作品を鑑賞する形態の選択肢が広がりました。そこで、オンライン上で鑑賞、体験できる作品とはどのようなものか、またその作品を鑑賞することとはどのようなことなのか、そしてネットにアップロードされている作品を見ることと、実物の作品を見ることの意味合いについて改めて考え直し、作品を体験することの意味合いについて対談形式で話し合いを深めます。

ゲスト：番匠カンナ (ヴァーチャル建築家) 形 式：トークイベント

日 時：2 月 20 日 (土) 11:00-12:30

会 場：にぎわい交流館AU まち発見・発信ステーション

番匠カンナ
BANJO Kanna

2018 年から活動するヴァーチャル建築家。「未来の空間」を求め、実空間とバーチャル空間を分け隔てなく設計する。「バーチャルマーケット」の会場設計など XR 空間の設計や、XR 系新規事業の企画・デザインコンサルティングなどを手掛ける。2018 年よりスタートした VR 空間デザインコンテスト「VRAA」の運営まとめ役。



●景観デザイン専攻 「へば、まち つくってみよう」

秋田公立美術大学の学生が秋田市街地に目を向けて学生の観点からディスカッションします。特に仲小路商店街はアートの街と呼ばれ、美大生にとっては関連が深い場所です。街の問題に直面しながらも、これから歩いていくにはどうすればいいのか、その糸口を見つけていきます。

形 式：ワークショップイベント 参加対象：大人から子供まで誰でも対象です。

対象敷地：秋田市 仲小路商店街 会 場：にぎわい交流館AU まち発見・発信ステーション

スケジュール：1 日目 2 月 17 日 (水) 14:00-16:00 「理想の仲小路商店街」

2 日目 2 月 18 日 (木) 15:00-17:00 「公共空間と向き合う仲小路商店街」

3 日目 2 月 19 日 (金) 11:00-13:00 「未来の仲小路商店街」

●ものづくりデザイン専攻

「へば、人間～わたしたちはなぜつくるのか～」

哲学、また民藝を専門とされる鞍田先生に学生たちの作品を見てもらいながら、ものづくりとは？人間は「なぜ」つくるのか？人間は「なぜ」生きるのか？ものづくり、そして人間としての「なぜ」を、哲学と美術、鞍田先生と学生たち、それぞれの視点から探究していきます。

ゲスト：鞍田 崇 (明治大学理工学部准教授 / 秋田公立美術大学客員教授)

形 式：トークイベント 日 時：2 月 21 日 (日) 13:00-14:30

会 場：にぎわい交流館AU まち発見・発信ステーション

鞍田 崇 KURATA Takashi

哲学者。1970 年兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修士。現在、明治大学理工学部准教授。近年は、ローカルスタンダードとインディマナーという視点から、現代社会の思想状況を問う。著作に「民藝のインディマナー」「いともしき」をデザインする (明治大学出版会 2015) など。民藝「案内人」として NHK-E テレ「趣味どきっ! 私の好きな民藝」に出演 (2018 年放送)。http://takashikurata.com/



●コミュニケーションデザイン専攻

「へば、あの人がどうしてる？」

コミュニケーションデザイン専攻を卒業した 4 期生までの OB、OG をゲストにお招きし、卒業後どのような仕事や活動をされているのか、現在の状況を踏まえて今後どのように生活していくことができるのか、リアルな現状も交えてお話していただきます。

形 式：トークイベント 日 時：2 月 21 日 (日) 10:30-12:00

会 場：にぎわい交流館AU まち発見・発信ステーション

※1 会場の際はマスクの着用と手指の消毒にご協力ください。

※2 新型コロナウイルスの影響で展覧会内容及びイベント内容は変更となる場合がございます。

※3 入場制限を行う可能性がございます。あらかじめご了承ください。

※4 修了展イベント、その他会期中イベントに関しては随時 SNS にて告知します。